



たまな

2013

4/15

NO.30

市議会だより

●新年度予算272億7,900万円に決定

●機構改革 賛成多数で可決

☆ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック!



人 事

人権擁護委員として次の2名の方の推薦に同意しました。(敬称略)
★人権擁護委員 木下 すみ子 西村 恵満

平成25年第1回定例会 議案の審議結果

■全会一致で承認、可決した議案

議 案 番 号	議 案 名
議第1号	専決処分事項の承認について 専決第1号 平成24年度玉名市一般会計補正予算(第6号)
議第2号	専決処分事項の承認について 専決第3号 熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について
議第3号	平成24年度玉名市一般会計補正予算(第7号)
議第4号	平成24年度玉名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
議第5号	平成24年度玉名市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議第6号	平成24年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
議第7号	平成24年度玉名市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
議第8号	平成24年度玉名市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
議第9号	平成24年度玉名市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)
議第10号	平成24年度玉名市九州新幹線湯水等被害対策事業特別会計補正予算(第4号)
議第11号	平成24年度玉名市水道事業会計補正予算(第2号)
議第12号	平成24年度玉名市下水道事業会計補正予算(第3号)
議第14号	平成25年度玉名市国民健康保険事業特別会計予算
議第15号	平成25年度玉名市後期高齢者医療特別会計予算
議第16号	平成25年度玉名市介護保険事業特別会計予算
議第17号	平成25年度玉名市農業集落排水事業特別会計予算
議第18号	平成25年度玉名市簡易水道事業特別会計予算
議第19号	平成25年度玉名市浄化槽整備事業特別会計予算
議第20号	平成25年度玉名市九州新幹線湯水等被害対策事業特別会計予算
議第23号	玉名市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
議第24号	玉名市道路の構造の技術的基準等を定める条例の制定について
議第25号	玉名市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について
議第26号	玉名市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について
議第27号	玉名市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について
議第28号	玉名市教育委員会外部評価委員会条例の制定について
議第29号	玉名市文化振興基本計画策定委員会条例の制定について
議第30号	玉名市教育センター条例の制定について
議第32号	玉名市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について
議第33号	玉名市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第34号	玉名市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について
議第36号	玉名市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議第37号	玉名市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第38号	玉名市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第39号	玉名市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
議第40号	玉名市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
議第41号	玉名市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議第42号	玉名市下水道事業審議会条例の一部を改正する条例の制定について
議第43号	玉名市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第45号	普通財産の無償貸付けについて
議第46号	普通財産の無償貸付けについて
議第47号	市道路線の廃止及び認定について
議第48号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第49号	人権擁護委員候補者の推薦について

■賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対

議案	蔵原隆浩	福田友明	内田靖信	江田計司	北本節代	横手良弘	近松恵美子	福嶋譲治	永野忠弘	宮田知美	前田正治	作本幸男	森川和博	松本重美	多田隈保宏	高木重之	中尾嘉男	青木壽	大崎勇	田畑久吉	小野野幸隆	竹下幸治	吉田喜徳	松田憲明	高村四郎	議決結果
議第13号 平成25年度玉名市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛23、反1)
議第21号 平成25年度玉名市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛23、反1)
議第22号 平成25年度玉名市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛23、反1)
議第31号 玉名市事務分掌条例及び玉名市地域自治区の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	議長	原案可決 (賛14、反10)
議第35号 玉名市一般職の職員の給与に関する条例及び玉名市技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛21、反3)
議第44号 玉名市水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛22、反2)
議員提出第1号 玉名市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛17、反7)

請願審議結果

	件 名	所管委員会	委員会結果 不採択 (賛成少数)	本会議最終結果 不採択 (賛成少数)
平成24年 請第4号	生活保護基準の引き下げを行なわないよう国に意見書の提出を求める請願	文教厚生委員会		

3月定例会

平成25年第1回玉名市議会(定例会)が2月28日から3月25日の会期で開催され、25年度一般会計・特別会計・企業会計それぞれの当初予算、及び条例の制定などを慎重に審議し、それぞれ可決した。

また、専決処分事項や、平成24年度補正予算関連についても慎重に審議された。

3月定例会では、平成24年度補正予算関連11件(うち専決処分1件)、平成25年度当初予算関連10件。また条例関係23件(うち専決処分1件)、人事案件2件、その他4件(うち議員提出1件)が上程され、50議案全てを可決・承認した。

主なものは次のとおり

◎庁舎建設事業

14億4千659千円

◎岱明玉名線道路新設改良事業

5億8千103万1千円

◎小中学校パソコン整備事業

4千529万7千円

◎6次産業推進事業

3千363万8千円

◎定住促進事業費としての

3千80万円など

また、岱明、横島、天水の各支所を市民生活部所管とし、これまで部長級だった支所長を各支所の市民生活課長が兼務する内容の条例改正案は14対10の賛成多数で可決。

一般質問では17名の議員が登壇し、市域におけるさまざまな問題・課題について活発に議論が交わされた。



平成25年度一般会計予算 272億7,900万円

議 会 費

2億6,124万円

議員報酬・共済費・政務活動費交付金等



総 務 費

42億4,216万円

任期付職員分人件費・公共施設長期保全計画策定支援業務委託・庁舎建設事業等



民 生 費

98億140万円

障害者介護給付・訓練等給付事業・玉名町第二学童クラブ室新築事業等



衛 生 費

23億8,319万円

子宮頸がん等ワクチン接種業務委託、浄化槽設置附帯工事補助金等



農林水産業費

14億2,559万円

6次産業推進事業・新規就農総合支援事業補助金等



商 工 費

4億6,445万円

工場等設置奨励費補助金・ブランド推進費等



土 木 費

25億1,327万円

岱明玉名線道路新設改良事業・小浜繁根木線道路改良事業等



消 防 費

9億8,341万円

有明広域行政事務組合消防費負担金・防災対策事業費(自主防災組織育成補助金)等



教 育 費

16億7,214万円

学校規模適正化事業・小中一貫教育推進事業等



災害復旧費

200万円



公 債 費

35億9万円



予 備 費

3,000万円



※金額は万単位で表示しております。

文化財を「玉名の魅力」に

文教厚生委員会

平成25年3月15・18日午前10時から開催

- 予算8件・条例7件・その他2件
- 主な審査項目
- ・24年度玉名市一般会計補正予算
 - ・25年度玉名市一般会計予算
 - ・25年度玉名市国民健康保険事業特別会計予算
 - ・25年度玉名市介護保険事業特別会計予算
 - ・玉名市文化振興基本計画策定委員会条例の制定
 - ・玉名市教育センター条例の制定
- 主な質問と回答
- Q、子宮頸がんワクチンの安全性は。
- A、接種による副反応の報告はない。子宮頸がんの発症が20代30代に多くみられるため今後もワクチン接種は必要と考える。
- Q、文化財を生かしたまちづくりについて。
- A、すばらしい素材が数多くあるので、これから策定する文化振興基本計画をもとに、観光面でも生かせるよう、玉名の魅力
- Q、前年度と比較して地方交付税が3億円減額。その理由は。国が地方公務員の給与を削減するため交付税を減額したとことと関係しているのか。
- A、国が示す地方財政計画で今年度は2.2%の減となっている。予算としては人件費も含めたところで減額している。
- Q、通信運搬費に予算計上されている行政施策の意識調査の内容は。
- A、5月から2カ月程度で意識調査を行なう。対象は、玉名市民で20歳以上3千人。内容は、総合計画で示す、33の主要施策に関して満足度、重要度についての評価をしていただく。
- Q、機構改革による市民へのメリットは。
- A、体制の中でより効果的、効率的に市の業務が遂行できるように4月からの機構を見直すもの。
- Q、教育センターの構成員は。
- A、教育に係る各種事業を研究する研究員は、教職員だけでなく、専門的知識を有する方を考えている。
- Q、今後の男女共同参画の進め方は。
- A、第2次男女参画基本計画で設定した女性登用率の目標を達成できるように啓発を進める。



▲計画的な文化財整備が待たれる

下水道事業 未整備地区は合併浄化槽を中心に 建設委員会

平成25年3月13・14日午前10時から開催

- 予算12件・条例10件・その他1件
- 主な審査項目
- ・24年度玉名市一般会計補正予算
 - ・24年度下水道事業、下水道事業、農業集落排水事業補正予算等
 - ・25年度玉名市一般会計予算
 - ・25年度農業集落排水事業、簡易水道事業、浄化槽整備予算事業等
- 主な質問と回答
- Q、浄化槽設置整備事業補助は24年度は99基の実績だったが25年度の予定は。
- A、消費税増税に伴う駆け込み需要も予想される。事業推進の観点からも200基を予定。
- Q、岱明玉名線道路新設事業のスピードが遅いのは。進捗状況と今後の見通しは。
- A、平成24年度末で用地88%、25年度末で用地進捗率98%、事業費ベースで57%を予定。
- Q、新玉名駅周辺35haの下水道事業認可取得のための委託料400万円の詳細は。
- A、4haは既に下水道整備済み。31haは1/20の出資で可能な事業認可を得るための委託料。
- Q、新玉名駅前駐車場拡張については予算は必要なしとのことだが、場当たり的施策では。
- A、駅前交流広場内に50台の臨時駐車場を設けるもの。誘導員の人件費53万円を計上。
- Q、横島地区真空弁改修工事では管路の更新や改修の必要はないのか。
- A、平成5年に整備して既に20年が経過。今回、農業集落排水処理施設改修を24年度から26年度にかけて行なうが真空弁については老朽化に伴う多量の漏水懸念があり2カ年で真空弁の交換を行なう。その他、天水東地区の配水管布設がえの進捗状況、下水道管路の岱明北野口地区での延伸計画などを慎重審査した。

乗り合いタクシー 10月から実証運行

総務委員会

平成25年3月13・14日午前10時から開催

- 予算2件・条例5件・専決処分事項2件
- 主な審査項目
- ・24年度一般会計補正予算
 - ・25年度一般会計予算
 - ・玉名市事務分掌条例及び玉名市地域自治区の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定
 - ・玉名市情報公開条例の一部を改正する条例の制定
 - ・玉名市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定
 - ・玉名市手数料条例の一部を改正する条例の制定
- 主な質問と回答
- Q、地域の元気臨時交付金により今回新たに計画した事業は。
- A、農政、土木、都市計画、教育委員会等で8億2千591万3千円の要望を上げている。
- Q、新年度において固定資産税が1億円ほど増収見込みだがその要因は。
- A、独立行政法人鉄道建設運輸施設整備機構外2社から新幹線の償却資産とし、総務大臣配分があり線路部分等について納入される。
- Q、前年度と比較して地方交付税が3億円減額。その理由は。国が地方公務員の給与を削減するため交付税を減額したとことと関係しているのか。
- A、国が示す地方財政計画で今年度は2.2%の減となっている。予算としては人件費も含めたところで減額している。
- Q、通信運搬費に予算計上されている行政施策の意識調査の内容は。
- A、5月から2カ月程度で意識調査を行なう。対象は、玉名市民で20歳以上3千人。内容は、総合計画で示す、33の主要施策に関して満足度、重要度についての評価をしていただく。
- Q、機構改革による市民へのメリットは。
- A、体制の中でより効果的、効率的に市の業務が遂行できるように4月からの機構を見直すもの。

農林水産業費14億2,559万円

産業経済委員会

平成25年3月15日午前10時から開催

- 予算4件・専決処分事項1件
- 主な審査項目
- ・専決処分 大正開排水機場修繕料(2千415万円)
 - ・24年度一般会計補正予算(2億2千786万円)
 - ・25年度一般会計予算(14億2千559万円)
 - ・25年九州新幹線漏水等被害対策事業
- 主な質問と回答
- Q、大正開排水機場1号ポンプの修繕は、いつ完了するのか。
- A、梅雨前に完了したいが、古い大型ポンプのため時間がかかり8月30日予定。
- Q、県営基幹水路ストックマネジメント事業補助金で、今後の事業展開は。
- A、受免排水機場については平成26年からで、平成28年5月に完了予定である。
- Q、有明海のノリの現状について伺う。
- A、過去5年間と比べ、岱明77%、滑石65%、大浜88%、横島漁協で115%。原因は赤潮発生と考える。
- Q、鳥獣被害対策事業 平成25年度から天水地区で実施するが、石貫や三ツ川など他の地域の考えは。
- A、今後、生息実態調査を行ない他地域も拡大する。
- Q、中山間地域等直接支払制度の委託料の内容は。
- A、知事特認を利用し、新たに事業申請をするための傾斜度測量費である。



▲誘致企業を現地視察。企業より説明を受ける。



まちづくりの志を継いで
玉名学は伝統となれ

議員 独自のブランドロゴマークとネット発信は知名度の低い玉名市単独では弱い。熊本県のPRキャラクターくまモンとの連携は。任期付職員のプロデューサーには農業関係の6次産業推進業務が主体だろうが商工関係のブランド推進戦略との横断的活躍が求められているのでは。

産業経済部長 チラシ、情報誌への広告等の掲載でくまモンのデザインを活用している。また、観光イベント等の出演時には多くの集客となっている。今後も全国的な人気のくまモンを、観光PRに大いに活用していく。

また、地域ブランド推進との兼ね合いについては6次産品同様、玉名ブランド認定品を初め、玉名の物産品の販路についても各課横断的な取り組みを進める。



松本 重美
(新生クラブ)

マーケティング
プロデューサーの位置づけは



▲肥後伊倉駅
つつじ植栽ボランティア事業の一区画

議員 玉名学は全域を網羅したのかそれとも各校区に細分したものか。まちづくり事業も25年度で終わるが各地で頑張ってきた人々の思いが生徒たち継承されていくなら結構。ただし知識を得たなら実践する精神、知行合一が大事。終わることなく伝統とならなければならない玉名学の目指すところは。

教育長 玉名学は「生まれ育った玉名への誇り」「日本人としての尊厳」「国際社会を生き抜く力」を持つ子どもたちを育てる目的で導入を目指している玉名市独自の科目である。礼節や規範等も含め、知識だけでとまらず実践していくべきものであると思っている。内容は、市全域を網羅したものになる。まちづくり事業で掘り起こしていたいただいたものも大いに活用させていただく予定だ。

蛇ヶ谷公園の桜
165本の伐採心が痛む

議員 玉名市には眞民氏が残した物が数多くある。会館を利用した生命を守る取り組みの時に来ていると思うが。

教育長 坂村眞民氏については、博物館で企画展示するほか、民間活動の広がりを見た上で、それを支援する方法があるのではと考える。記念会館建設の検討には至らないが、玉名学に重要な位置づけで取り入れていく。



▲蛇ヶ谷公園の伐採された桜の木

議員 とうとい命を守る
市の対策と支援

議員 玉名市における自殺防止及び自死遺族支援の新年度の取り組みは。

健康福祉部長 自殺のサインについての啓発活動や、当事者による講演会を開催している。新年度においても、臨床心理士を配置し、遺族支援について取り組みを強化する。

議員 坂村眞民氏の会館建設を！

議員 玉名市には眞民氏が残した物が数多くある。会館を利用した生命を守る取り組みの時に来ていると思うが。

教育長 坂村眞民氏については、博物館で企画展示するほか、民間活動の広がりを見た上で、それを支援する方法があるのではと考える。記念会館建設の検討には至らないが、玉名学に重要な位置づけで取り入れていく。

議員 蛇ヶ谷公園の桜の年輪を大切にしたい計画的な樹木の手入れ伐採、植樹は行なわれているのか。

建設部長 樹木医の、病害等診断に基づき、伐採や剪定等の処理を行なった。今後は、桜の苗を継続的に植えつけ、桜の名所にふさわしい公園にしたい。

議員 現庁舎跡地利用は
市民の声を活かす場を

議員 現庁舎跡地利用に地産地消を生かした6次産業の販売所等いかがか。

企画経営部長 地産地消の推進、中心市街地の空洞化解消、周辺地域の活性化等の効果が期待でき、有効な活用策の1つと考える。市民の求め方やその時期等については、今後、具体化に向け検討していきたい。

平成27年1月新庁舎開庁見込み

新庁舎建設特別委員会

平成25年2月21日午前10時から開催

■主な審査項目

- ・新庁舎建設地の現地視察
- ・24年度補正予算
- ・25年当初予算

■主な質問と回答

- Q、建設工事は25年度に4割残りの26年度分は消費税が8%となるのか。**
A、契約が25年となるので、その時点での消費税であり、5%である。
- Q、備品は26年度購入となるだろうから消費税は8%なのか、また大まかな概算額は。**
A、備品購入時の消費税は8%となり、概算で8千万円と見込んでいる。
- Q、今後のスケジュールについては。**
A、本体工事が7月に着工、平成26年12月に完成、27年1月には新庁舎が開庁の見込み。
- Q、合同庁舎北側の駐車場工区について、先行して開発できないか。**
A、美観を損なわないよう管理し、現場事務所設置場所には花壇等の整備を進めたい。
- Q、造成により、周辺の土地が沈下する等、周囲への影響は計算してあるのか。**
A、県の土木事務所とコンサルタントと協議して行なっている。



▲建設予定地にて、土砂搬入の説明を受ける

政務調査費の答申

政務活動費の運用指針を策定

昨年の通常国会における地方自治法の一部改正により「政務調査費」を「政務活動費」と改称し、その用途についても調査研究だけでなく、選挙や後援会活動を除く「その他の活動費」として国などへの陳情の実費を認め、意見交換会などの「会議費」を経費として認めるなどと拡大された。玉名市議会においては昨年3月、政務調査費の用途や限度額を規定した独自の運用指針を定め、平成23年度収支報告書より運用していたが、法律、条例の改正を受けて「政務活動費」の運用指針を定めることとなった。

特に使途が拡大された国や県などへの「要請・陳情活動費」については旅費等の領収書や面会相手、要請・陳情目的などの報告を義務づけることとし、議員の3親等以内の親族への人件費の支出を認めないことや、事務所の維持管理費や電話料や燃料費などにも上限を設定するなど、他の地方自治体よりも格段に厳しい運用指針とした。

今回の運用指針は貴重な税金の使途について、議員自らが襟を正し、玉名市民の福祉の向上に資するための、政策立案や提言に役立てる「政務活動費」を目指して策定したものであり、平成25年4月から適用する。



▲高村議長に運用指針の答申書を手渡す内田議運委員長



吉田 きとく
(前進黨議員)

国の緊急経済対策補正予算、 玉名市にも増収

議員 1. 玉名市24年度補正予算、25年度当初予算について(1)国の補正予算、当初予算に関連して(1)国の補正予算の玉名市増収分の主な部門は(1)国の当初予算(案)が本市にもたらすプラ

総務部長

緊急経済対策については、農業基盤整備促進事業、道路舗装事業、中学校武道場建設事業など11事業、総額約9億7千万円を3月補正予算に計上して対応。また、国の当初予算は、「復興・防災対策」、「暮らしの安全・地域活性化」など3分野に重点化されたが、本市としては、平成25年度の補正予算に計上して対応。

議員

2. 防災のための点検と修復計画について、(橋、路面、里山、上下水道、ループ橋周辺、JR鉄道下の壁道等)

建設部長

道路、橋、公園の点検パトロールを今後も行なうとともに、国

の大型補正予算案を活用して調査を行ない、早急に対応が必要な所から改修を計画している所である。

議員

3. 教育問題(1)教育再生実行会議道徳を教科に(2)いじめ予防対策(案)について(3)学力向上と土曜授業について(県の指針提示を受けて)(4)県市町村教育委員大会について

教育長

(1)規範意識醸成のために特定の教科でなく学校生活のすべての機会教育すべき。教科化には課題もある。(2)コミュニケーションの充実により地域と一体となっていく防止の体制をつくる。(3)県の通知文を受け、学校週5日制の趣旨を踏まえつつ、家庭・地域との連携により推進する。

教育委員長

(4)市町村の教育行政が進めていく方向性を学ぶことができた大会。



議員

鳥獣被害の拡大が続いている。(1)平成23年度の被害状況、イノシシの捕獲数、平成24年度に実施したイノシシの生息実態調査の結果は。(2)国との連携事業として平成25年度から実施される国の交付金事業「鳥獣被害防止総合対策事業」の概要は。

産業経済部長

(1)平成23年度の被害金額は約1千444万円、捕獲数は227頭。生息実態調査の結果、地区内に数多く生息しているということ、グループの生息箇所等が判明した。(2)鳥獣被害防止総合対策事業は、平成25年度に天水地区で防護柵設置を実施する。3戸以上の農家による申請が要件で、要望状況は、受益者が延べ約290名、総延長32・4km。5月下旬までには、詳細が把握できる見込み。



▲天水で捕獲されたイノシシ



永野 忠弘
(無会派)

高崎市長の政治姿勢と 行政運営について

議員 前回の市長選の争点であった新庁舎建設費は高崎市長が会長を務めた合併協議会の中でまとまった建設費は70億円だった。前市長の建設予定額は60億円で、30億円を削減と明言。方針を転換したのは信義に反すると考える。30億円の削減の根拠と、選挙後の30億円削減はなかったとの発言の真意を問う。

市長

70億円は、合併協議会での建設予定地や建物の詳細等も未定の中の概算額。60億円は、本市と同規模の自治体と比較した場合、人口減少、職員数の削減が進む中、次世代に大きな負担を強いいることは慎重に再検討すべきとの強い思いがあった。建設費の削減は、最低20億円、さらに検討を加え努力していくという趣旨である。

議員

昨年の3月議会では駅駐車場拡張計画があった。市民のための混雑解消利便性確保の目的であったと考える



▲臨時駐車場予定地

が本年度での計画はあるのか伺いたい。

市長

昨年3月議会の拡張計画の否決を受け、対応策を検討している。今年度は応急的に交流広場の一部に50台程度の駐車場を確保し、誘導員を配置し、対応していきたい。

公共工事入札提訴について

議員 高崎市政は当初より公共工事入札関連においては不透明感がある。訴えている建設会社の近年の指名回数落札回数など、また訴えに対する市長の見解を問う。

市長

係争中の内容に触れるので、答弁を控えさせていただく。相手方の訴えについては、そのような事実はないと否認している。詳細については裁判の中で明らかになるのでこれ以上の答弁は控えさせていただきたい。

談者のワンストップサービスを向上させたい。

現物給付でサービス向上

議員

子ども医療費は無料なのになぜ病院窓口で1度払う必要があるのか。現物給付で病院も市役所も事務軽減になる。子育て支援や定住促進からも現物給付に踏み出すことだ。見解は。

健康福祉部長

現物給付方式で対象者の窓口負担がなくなり、申請処理に係る市の負担は軽減される。反面、医療費と助成額の増と、国民健康保険療養費等国庫負担金の減額措置で市の負担増となり、償還払い方式をとっている。市長 現在の方式は現物給付方式と遜色ない利便性を有している。受給者が医療費総額を把握し、公費負担を認識することも必要と考えている。



▲ふれあいサロンで楽しい子どもたち

一般質問

入札行政の 適正化について



内田 靖信
(自友クラブ)

議員

玉名市発注工事の指名競争入札から意図的に外されたとして、玉名市内の建設会社が損害賠償を求める訴えを起こした。(1)市長はどのような手順で指名審査会の適否を仰いでいるのか(2)指名審査会会長の副市長は審査会において提案された案件を修正、変更したことはあるか(3)「市長選で対立候補を応援し、選挙後も市長にわびなかったために工事から締め出された」と訴えにあるがこのような古い体質の事例が、今なお存在するのか。

市長

(1)について発注者として限られた財源を効率的に活用し、適正な価格で良質な工事を発注することが責務と考えている。(3)について議員質問のようなことは一切ない。

副市長

(2)について修正、変更したことはある。

有害鳥獣被害対策の強化は

企画経営部長 子育て環境の充実や高齢者の支援、働く場の確保、教育や文化の提供、社会インフラの充実など生活のさまざまな分野に関係することを、全庁的な共通認識として定住促進に努める。また、関係課との連携により、本市へ移り住んだ際に受けられる行政サービスをホームページや冊子などで分かりやすく伝えるほか、移住相

議員

人口増に向けて全庁的なプロジェクトが必要と思うが。

TPP参加で37億円減



前田 正治
(共産党)

議員

TPP参加は玉名の農業にも大きな影響が出る。市長はTPP参加をどう思うか。

市長

県の試算を参考に影響額を算出すると、本市では37億2千800万円(H18年分)が減少すると試算される。しかし、現段階では例外品目の内容等が明確でないため、農業への影響についてははかりかねる。今後の政府の農業施策等の動向を注視していく。

議員

定住化促進で重点施策は何か。人口増に向けて全庁的なプロジェクトが必要と思うが。



田畑 ひさよし
(有明クラブ)

小中学校における 体罰といじめについて

議員 体罰や、いじめにより小中学校の子どもたちを自殺に追い込みとうとい生命をなくす事件が多く発生している。超少子化、超高齢化の時代に入り子ども一人の生命は国の根幹であり国発展のすべてにおいて存在価値ははかりしれない。昨年の県内いじめの件数85件、教職員による体罰が8件の過去最多である。教育の現場においての指導体制はどうか、細心の注意と配慮を、またその対策は。絶対に子どもたちを自殺に追い込む事は許しがたい。

教育長 体罰は明確な法律違反である。学校にはさまざまな機会をとらえて指導し、工夫を凝らしたボトムアップ型研修で意識の向上を図っている。また、本人が「いじめられた」と感じたものは、全て「いじめ」との共通認識を持つて解消に向けた取組を丁寧に行っている。今後も地域や保護者の皆様関係機関と連携し、粘り強く取り組みたい。

災害の想定数値と防災対策は

議員 何事にも想定数値の計画が必要、特に防災に関しては密な計画が必要。今日正に真逆の事が発生し、想定計画の数値を超えるから大災害となり、計画がないと緊急時の対応が出来ない。玉名市では地震津波大雨の数値と防災計画はどうか。

総務部長 地震防災マップでは、市直下の地震で、最大6強の揺れになると想定。洪水避難マップでは、2日で40ミリの大雨等を想定している。津波は、県の調査結果が出た後に示すことができるかと考える。対策は、災害予防・災害応急対策・災害復旧の各段階に応じた対策を玉名市地域防災計画に基づいて実施していく。

※その他高崎市長の市政方針を質問。



▲木葉川の堆積土砂 早急なしゅんせつを

海拔標示設置に 向けての進行状況は

議員 避難場所など海拔標示の設置状況はどうなっているか。また日ごろ利用する幹線道路などへの設置の考えは。

総務部長 居住地域の海拔を日ごろから意識し、津波被害に対する警戒と防災意識を高めていただき、迅速・適切な避難行動への活用や参考としていただくことを目的に設置する。市有施設の避難所等約70カ所を対象に、今年度中に設置する予定。道路への海拔標示は、県の地震・津波被害想定等を分析研究し、検討する。

※その他鳥獣害対策について質問した。



福田 友明
(新玉名クラブ)

JR鹿児島本線 停車本数を増やせ！

議員 九州新幹線開業以来は2年、便利になった一方で、JR鹿児島本線は非常に不便な状況である。快速の運行も相まって、午前10時から午後4時まで、肥後伊倉駅と大野下駅への停車は1時間1本となった。通勤・通学・病院通いなど市民の足としてなくてはならない在来線である。各駅停車を増やし利便性を願うが、市としてJR九州へ要望する考えはないか。

市長 快速電車が導入されたのに、各駅停車が減便されては意味がなく、以前のように1時間2本の運行は市民の利便を確保するために必要だと考えている。本市は、これまでも機会をとらえてJR九州に対して要望活動を行ない「各駅停車の増便」を訴えてきた。これからも県や関係市町と連携を図りながら、要望の実現に向けてJR九州に対して市民の声を届けていきたい。



▲停車本数増が望まれる大野下駅



松田 憲明
(自友クラブ)

県北の都玉名は 庁舎建設から!!

議員 県北の都を目指すなら、新玉名駅を玄関とし、行政の拠点庁舎建設、医療拠点公立玉名中央病院建てかえ、文化の拠点市民会館建設と計画的な推進が不可欠。現状と考えを問う。

市長 市政のかじ取りは、市民の多様なニーズを踏まえ、現実的かつ具体的な手法により進めなければならぬ。今後も、「市民目線で市民の満足度の向上」のため引き続き努力したい。

企画経営部長 庁舎建設は、用地取得が完了し、本年1月から11月までを工期として、造成・水路工事を進めている。本体工事については、26年12月の完成を目指しており、造成や今後発生する舗装や外構工事など、可能な限り地元への発注にも配慮していく。

総務部長 玉名中央病院については、耐震性の課題はあるが、本市の一存ではできないので、早い時期に玉東町などとの協議の場を設け、検討が必要。



横手 良弘
(市民クラブ)

生活排水対策事業の 現状は!!

議員 公共下水道、農業集落排水、市町村設置型浄化槽と個人設置型浄化槽とあるが、毎年どれくらいの申請があり、普及率は全世帯の何%なのか、また、設置後のチェックと、今後の市の方向性はどのようか?

企業局長 市町村設置型と個人設置型合計の浄化槽の申請件数は、平成22年度107件、23年度106件、24年度113件。各事業の普及率は平成24年3月31日現在で、市全体人口に対し公共下水道48・4%、農業集落排水10・8%、市町村設置型と個人設置型をあわせた浄化槽は21・3%、合計の普及率は80・5%。設置後のチェックは市町村設置型は市が設置から維持管理まで行ない、個人設置型は個人が設置し、維持管理も行なう。今後維持管理、水質検査の徹底を図る。

危機的農業を救えるか!!

議員 少子化・貿易の自由化で農業の明日が見えない。国策として「人・農地プラン」、市策として圃場整備の推進があるが、現状を問う。

産業経済部長 「人・農地プラン」については、昨年5月から市内28地区で説明会を行ない、意向調査票を回収した。取りまとめ後、3月初めに検討委員会においてプランの承認を受けたところである。また、扇崎・大野下地区の圃場整備については、新たに担い手を中心とした推進委員会が設置され、現在、推進委員が一体となって事業参加の同意徴集を行なっている。事業推進には多くの課題があるが、関係者と協議しながら、平成26年度の新規採択を目指し取り組む。



▲県北の玄関新玉名駅

ドクターヘリ運用と AEDの使用状況は

議員 県のドクターヘリが運用を始めて1年になるが、1年で出動、搬送された人はどれくらいいるのか、3月3日に行なわれた玉名ハーフマラソンの状況とその後AEDの使用は、また現在の設置状況は。

総務部長 ドクターヘリと防災消防ヘリが相互に役割を補完する緊急搬送の運用体制において、平成24年の有明消防管内で、出動要請77件、実際の緊急搬送が55件となっている。

教育次長 玉名ハーフマラソンは、埼玉県庁の川内優輝選手の出場もあり、観客動員数が例年の3倍以上となり、大声援の中無事終了した。AEDは3台配置していたが、使用はなかった。



▲熊本県のドクターヘリ

一般質問

利用に不安!! 新玉名駅駐車場



近松 恵美子
(蒼風会)

議員 熊本、大牟田の新幹線駅駐車場は有料であるため、無料である新玉名駅の利用が多くなっている。市外の駐車場の実態は。

建設部長 熊本駅は74台、料金は1日最大500円で連休は満車状態である。新大牟田駅は128台、料金は1日最大350円で土日も満車状態である。

議員 駐車場不足のため、家族に送迎してもらっている市民もいる。市外の利用の調査と日々のパトロールが必要ではないか。

建設部長 乗車客の割合は市外が50%、市内が36%である。夜間、終電後と始発前の2回パトロールを行ない、昼間は管理人を配置している。

臨時保育士の待遇改善と 保育の質の向上

議員 職員とほぼ同じ業務をこなしている臨時保育士の待遇が改善されず、

民間や他市町と比べて低過ぎる。これで保育士の確保ができるのか。また、課長補佐を任命し質の向上を図るべき。

100歳老人表彰 介護者にも目を向けて

議員 100歳表彰の写真に市長の顔も大きく載っているが、支え続けてきた介護者こそ掲載してほしい。

総務部長 今後も市民が主役の広報誌づくりに努める。



▲豊水保育所の園児たち

一般質問

なぜ 産業祭は 市民会館での開催に!!



福嶋 譲治
(蒼風会)

議員 産業祭が3月10日市民会館で開催されたが、なぜ草枕温泉から移動になったのか。今年の産業祭は人出が少なく、出店者からも不評の声が聞かれた。定住化促進の主旨に反し、人口減にも拍車をかける。昨年までの開催地が集客も多く市民の参加意識が強い。

産業経済部長 今回、より充実した内容とするべく、従来の農水産業関係、商業関係の催事に加え、新たに工業関係の紹介コーナーや中小企業相談会、花の寄せ植え体験など、新たな事業内容を加えたことに伴い、会場のスペース確保の問題、及び昨年度の産業祭で課題となった交通渋滞や駐車場不足に対応するために会場を変更した。

市民会館職員採用、 市民より疑問の声!!

議員 市民の声として市民会館職員の採用に対し疑問の声が上っている。



▲平成25年3月 産業祭の様子

採用の方法と最終面接にはだれが当たったのか問う。

市長 市民会館の管理運営は玉名市自治振興公社が行なっている。公社の職員採用は、一次試験が教養と作文の筆記試験、二次試験として個別面接を実施している。面接の試験官は、公社理事長、副理事長、専務理事及び事務局長の4名である。

議員 イノシシによる農作物被害の増大が目立つ。25年度に向けて、新しい対策はなされるのか。

産業経済部長 平成25年度に天水地区において、国の交付金事業である「鳥獣被害防止総合対策事業」に取り組み、広域的な侵入防止柵の設置事業を行なうこととしており、要望調査を行なった。また、わな猟免許の新規取得経費の一部助成等も予定している。

指名競争入札について 指名の基準を示せ!!



中尾 嘉男
(有明クラブ)

議員 合併当初は8社以上の指名が行なわれていたが、今なぜ6社なのか、その理由を示せ。また、土木・舗装・建築工事の24年度の指名件数、23年度の発注件数、20・23年度の受注ゼロの業社の有無を問う。

企画経営部長 玉名市財務規則及び工事契約事務取扱要領において、なるべく6人以上の指名とあり、6社指名は事業の発注回数、受注回数ゼロについては20年度24社、21年度13社、22年度24社、23年度23社である。

議員 発注件数が業社数を上回っているのに受注ゼロの業者がいるのは指名のあり方に問題がある。地元業社が満遍なく受注するには市の配慮が必要だ。

副市長 さまざまな角度から研究・検討し、発注者として改善できることは改善していく。

活性化へ生かせ!! 24年度補正予算案!



青木 ひさし
(公明党)

議員 地域の元気を生み出す国の交付金など総額で10億円近い予算が、交付されるが、どう活性化に結びつけるのか。

総務部長 緊急経済対策については、事業の緊急性や必要性を十分に検討し、県とも協議を重ねるに要望しているところで、道路舗装事業など全体で11事業、総額約9億7千万円を3月補正予算に計上。具体的には、「地域の元氣臨時交付金」事業関連で、排水路整備等の農業基盤整備促進事業、市道18路線の道路舗装事業、公園整備事業、裏川水際緑地整備事業、理科教育設備等整備事業など。日本経済の再生のためには、緊急経済対策の迅速かつ着実な実行が重要であるため、本市においても、早期の事業執行に取り組む。

急げ!! 地域公共交通総合連携計画

平成25年度予算について

議員 今回、国の緊急経済対策を受け、熊本県は84億円の増額補正。これに対し本市の土木費の新年度予算額を見て落胆した。市の中心部の事業が完了し、次は旧町と思っていただけに残念だ。土木費対前年度比4.2%減の理由、新市建設計画の進捗状況について尋ねる。

建設部長 東北大震災復興支援の影響で、国からの補助金交付額が減り、新年度の要望額も絞られているのが要因であるが、このような状況下でも、市としては最大限の要望を行なっている。

企画経営部長 当初計画の23事業は23年度末で134事業に集約され、完了が55事業、実施中が40事業、未実施が39事業、事業費をもとにした進捗率は約76%。



▲舗装工事状況

議員 一定の地域で10月より試行運行する乗合タクシーが始まるが、今後、他の地域でも拡大運行が可能か。

企画経営部長 鍋線、横島線の2路線を廃止するかわりに、公共交通の不便地域の解消も図れるように利用エリアを設定し、利用者の予約に応じて運行する乗合タクシーを新たに導入する。

充実を図れ!! 子ども・子育て関連法!

議員 「子ども・子育て関連3法」が成立!今後の予算措置は。

健康福祉部長 新制度は、子育て支援の充実を図るもの。平成27年度実施予定であるが子育て会議設置や補助金等が明示されていないので補正予算で対応させていただきたい。





宮田 知美
(新玉名クラブ)

動き出す尾田川改修事業

議員 長年の願いである、水域の浸水被害を無湛水化等により農業のさらなる発展及び家屋の安全が保障される尾田川改修事業が途中で中断していたが、政権交代により尾田川改修事業に景気対策予算はついたのか。

建設部長 事業を行なっている県では、国の大型補正に伴い、平成25年度は元氣臨時交付金5千万円を要望することであった。市としても本事業の早期完了に向け、今後も要望や協力を行なっていく。

産業経済部長 農政事業は、県にて国の大型補正で8千800万円、平成25年度当初で7千700万円の予算措置がなされており、市においても負担金を今議会に計上したところである。県土木事業である築堤工事の進捗を踏まえながら事業推進を図り、水田の無湛水化に向けた事業推進を図っていく。

体罰根絶対策について



▲改修を急がれる尾田川

議員 大阪市の高校で体罰を受けて自殺した事件は体罰に頼った即効的な結果を安易に求めた指導法である。体罰は指導する技術や能力のない指導者である事の周知を広く社会に知らせ、体罰根絶を図るべきではないか。

教育次長 体罰をなくすためには、生徒指導の充実が重要。玉名市内の学校では、児童生徒一人一人について、性等の理解を深め、教師と児童生徒との信頼関係を築き教育指導にあたる。また、児童生徒のさまざまな悩みを受けとめ、積極的に教育相談やカウンセリングを行なっている。そのため、「子どもを見つめる会」や「教育相談」等を実施したり、教育相談のスキル向上のためにカウンセリング理論に関する研修を積んだりしている。

一般質問



江田 計司
(蒼風会)

チェンジ玉名で市は活性化したのか

議員 公共工事の入札では、高崎市政になって、受注ゼロ、専門分野での指名ゼロと言った業者もあると聞くが何か意図的な力が働いているのではないかと聞くが、指名のあり方を伺いたい。

副市長 市が発注する建設工事等の入札参加の資格審査等及び市工事等の契約の履行確保に必要な事項の審査を行なうため、工事指名等審査会を設置し審査を行なう。競争参加者の指名に当っては、玉名市財務規則及び玉名市工事契約事務取扱要領において、なるべく6人以上しなければならないとした規定により、現在は原則6人の指名を行ない、業者選定については、経営状況、受注状況等を総合的に判断して指名をしている。

新庁舎の進捗状況は

議員 新庁舎の建設に当たっては、地元業者の育成のチャンスでもあり



▲新庁舎造成中

ネコンとの※JV等、または電気、設備等の分離発注はないのか。市の活性化につながるよう、地元の下請けの弱い者いじめにならないように考慮してはどうか、伺いたい。

企画経営部長 ※共同企業体
新庁舎の建設によって地元経済への波及が期待されるが、それとともに市民負担の軽減も図っていかなければならない。他市の事例では、建築に解体や造成を含めて一括発注した中で、地元への配慮を条件付けているものがあるのに対して、本市の場合は、今回の造成工事やその設計・監理委託など、既に地元への発注をしており、今後も可能な限り配慮していく。新庁舎の本体工事に関しては、入札の際に付ける条件について検討中である。

※その他機構改革と市民サービス低下について質問した。



藏原 隆浩
(新生クラブ)

民主党と市長が目指したチェンジとは？

議員 市長が目指したチェンジ（改革）とは。①一体何を変えたかったのか。②またこの3年間で何が変わったのか。③そして今後をどう変えたいのか。

市長 ①市民の目線に沿った良質な市民サービスを低コストで提供し、財政とのバランスがとれた中で、市民の満足度を可能な限り向上させること。また、市民一人一人の思いが通じる市政への改革を目指した。②チェンジ玉名に示しているが、第6次産業の積極的な育成や、子どもの医療費助成の拡充の実現など。③今後に残された市長任期の間、いまだ達成されていない施策の達成に重きをおいて改革を進めてまいりたい。

玉名ブランド！「音楽の都 玉名」づくり

議員 市の重点施策「音楽の都 玉名」づくりの進捗状況とこれまでの成果は。またまちづくりの推進体制を

言め、今後をどう推進していくのか。

教育次長 玉名市民音楽祭を初め、音楽団体等による演奏会が行なわれている子どもたちへのアウトリーチ事業の継続や新年度予定のスクールバンドコンサートを行ない、今後は官民協働での推進体制を構築するため協議を進め、市民が主体となった全市的体制を目指す。

議員 「音楽情報の一元化」はどの部署がいつまでに行なうのか。また市民会館を運営する自治振興公社などに委託する考えはないのか。

教育次長 民間団体との協議にもよるが、事務局的作用として、当面文化課として、平成25年度末に整理する。市民会館を運営する自治振興公社も一つの選択肢としてとらえ、市民会館の役割や運営方法も今後検討していく。



▲「音楽の都たまな」も重要な玉名ブランドのひとつ！

議会を傍聴しませんか！

市議会は大だれでも傍聴できます。庁舎西側（正面玄関前駐車場の右手）から直接傍聴席（3階）に入ることができます。傍聴席は57名分設けてあります。また、各支所1階ロビーにもインターネットの中継テレビを設置しています。

市議会定例会で本会議を傍聴できるのは、開会（提案理由の説明）、一般質問、閉会（採決）です。

なお、日程につきましては6月定例会予定（下記）をご覧ください。

議会事務局 TEL（75）1155
玉名市ホームページ市議会サイトでも視聴できます。

玉名市のホームページ
<http://www.city.tamana.lg.jp>

第20回 熊本市議会議員研修会に参加

去る、2月21日熊本県下14市の市議会議員及び事務局職員を対象に第20回熊本県市議会議員研修会が行なわれた。基調講演としてジャーナリスト櫻井よし子氏を迎え「この国の行方」～日本のあるべき姿」と題し、講演が行なわれた。



6月定例会予定

24日	19日	18日	17日	14日	13日	10日	6月7日	5月31日
月曜	水曜	火曜	月曜	金曜	木曜	月曜	金曜	金曜
採択 定例議会閉会	文教厚生委員会 建設委員会	総務委員会 産業経済委員会	一般質問 議案の委員会付託	一般質問	一般質問	一般質問 発言通告締切	定例議会開会 提案理由の説明	議会運営委員会

※都合により変更になることがあります。

感謝



小天小学校 清田 耀きよた ひかる

「ありがとうございます。」

先日、先生方とのお別れ会があった。会の最後に、ぼくたちは感謝の気持ちを伝えながら、先生方を会場から見送った。

ぼくは、この6年間いろいろな先生にお世話になった。勉強で困っている時に優しく教えていただいたり、漢字検定の取り組みなど目標をもたせていただいたりした。ぼくは、たくさんの先生方のおかげで、いろいろな事が成功して、自信がついた。

ぼくは今年度小天小学校を卒業する。先生方に教えていただいたことや、この小天小で学んだことを生かして、次の目標へ進んでいきたい。

抱負
中学入学にあたっての

大野小学校 浦田 智可うらた ちか

新しい制服に新しい自転車。何もかもが新しくなり、中学校に入学するのが楽しみな私であるが、その一方では不安もつのるばかりである。勉強が難しくなる。部活動が大

変になる。考えれば考えるほど、心配はつきない。きつとみんなも私と同じ思いでいることだろう。しかし、そんな心配があっても、私の抱負は変わることはないだろう。私の抱負はただ一つ。部活と勉強を両立させること。これができてこそ、中学生と言えるのではないだろうか。そんなのできるはずがないと思う人もいるだろうが、今まで多くの先輩方が成し遂げてきたことを、私たちができないはずがない。

市民の声
中学校入学にあたって(抱負)

夢と新しい目標に向かつて



横島小学校 岡本 大眞おかもと だいま

ぼくは久留米附設中に入學します。そして、横島町を離れ寮生活を始めます。不安な気持ちがありますが、横島小で学んだことを大切にして、新しい目標と夢に向かつて誠実に

努力していききたいと思います。ぼくの信条は、「学問に王道なし」です。受験を通して、学ぶ姿勢・意欲そして自信という宝物を得たと思います。応援してくれたクラスメイト・見守ってくださった先生方ありがとうございました。そして、支え続けてくれた家族に感謝しています。中学生になっても、周りの人達への感謝の気持ちを忘れず、将来の自分の姿を見据えて努力していきます。

中学生になる前に
思うこと

月瀬小学校 沖凌 太朗おきりょう たらう

ぼくは、もうすぐ小学校を卒業します。今思うと、6年間はとても短く感じます。

ぼくが小学校生活で一番心に残っていることは、最後の運動会です。特に今年は応援団

で白組の団長をし、大変でした。でもみんなをまとめることの難しさや力を合わせることの大切さを学ぶことができました。中学校では、たくさんの方達を作りたいと思います。月瀬小学校では全校生徒25人、同級生は4人でした。中学校は、人数が多くなるのでいろんな人と友達になることが今からとても楽しみです。早く中学生になりたいと思います。

編集後記

東日本大震災から3月11日で、2年がたった。発生時刻の午後2時46分に開催中の議会で、黙祷をささげる。遠く離れた地方からでは被災地の復興を願い、犠牲者を追悼しお祈りするばかりである。

原発事故での多くの住民がいまだふるさとに戻れないという状況は放射能事故の恐ろしさである。今後の原発存続を真剣に検討すべきと考える。

夢・希望とともに新玉名駅開業も2年前。今議会で駐車台数50台増設も期間限定ではあるが明らかに。大型商業施設2店目も3月末開店。注目が集まる新玉名駅周辺である。玉名市の拠点地域として計画ある発展を願うものです。

議会報編集特別委員会

委員 永野 忠弘

☆表紙の題字

「市議会だより」は、



玉名町小学校 新5年

さくらいゆうこ
櫻井優子さんの作品です。